

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山(火山)	事業箇所	甲斐市	上芦沢	地区名	平石沢(ひらいしさわ)	事業主体	山梨県
(1)事業概要							妥当	妥当でない
①課題・背景 本計画箇所は、甲斐市上芦沢地区に流入する一級河川亀沢川の上流に位置している。近年の集中豪雨により溪流に 渓岸浸食が発生し、荒廃が顕著となり、下流への土砂流出の恐れが高まったため、土砂流出対策を早急に実施し、保全 対象の保護を図る必要がある。							○	
②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流災害の防止 保全対象 人家16戸 市道300m 林道700m 土砂整備率 (現況)4%<70% ※ 災害実績 無 ※ 重要公共施設 有(避難場所 平見城公民館) ※ (※ 評価基準値)							○	
□副次目標 -							○	
□副次効果 -							○	
(3)事業の妥当性評価 ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) ・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当							○	
②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか) ・森林法第41条第3項の規定により都道府県知事が整備							○	
③経済妥当性 費用便益費 便益(B)/費用(C)= 2.66 > 1.0 ・便益(B)= 357 百万円 ・費用(C)= 134 百万円							○	
④事業実施・規模の妥当性 ・流域内は渓岸浸食が発生し、不安定土砂が堆積しており、下流へ流出する恐れがある。 なお、砂防ダムの計画はない							○	
⑤整備手法の有効性 ・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効							○	
⑥環境負荷への配慮 ・切土法面は緑化し、裸地を残さない ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を軽減する。							○	
⑦事業計画の熟度 ・地元甲斐市より強い要望有り							○	
<妥当性評価> ・7項目すべて妥当であることから、妥当と判断								
(4)事業間優先度評価 ・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 2 優先度評価: I								
(2)整備内容と整備量 ①整備内容 谷止工7基 ②整備期間 平成29年度～平成31年度 ③総事業費 145百万円(国費 72百万円(5.5/10) 県費 73百万円(4.5/10)) ④全体計画 平成29年度 谷止工2基 45百万円 平成30年度 谷止工2基 45百万円 平成31年度 谷止工3基 55百万円 ⑤既整備内容・期間・事業費 平成10年度 谷止工 1基 24百万円 平成11年度 谷止工 1基 23百万円 平成12年度 谷止工 1基 21百万円							○	
(5)総合評価 ・(3)及び(4)の結果から「優先的」に実施 【事業位置図等】 省 略								